

◎ガストログラフィン経口・注腸用 [内]

【重要度】 【一般製剤名】 アミドトリゾ酸 [アミドトリゾ酸ナトリウムメグルミン液] amidotrizoic acid 【分類】 水溶性消化管造影剤

【単位】 ◎100mL/瓶

【常用量】 ■消化管撮影：1回60mL ■CT造影：30～50倍量の水で希釈し、250～300mLを経口投与 ■注腸造影：3～4倍量の水で希釈し、最高500mLを注腸投与

【透析患者への投与方法】 吸収されずほとんどが糞便中から排泄されるため減量の必要はないと思われる (5)

【保存期 CKD患者への投与方法】 吸収されずほとんどが糞便中から排泄されるため減量の必要はないと思われる (5)

【特徴】 ヨード系造影剤で安息香酸の誘導体。安息香酸は非常に毒性が低い保存剤で、馬尿酸に代謝されて尿に排泄される。

【主な副作用・毒性】 ショック・アナフィラキシー、過敏症、血圧低下、下痢（高張液のため）

【吸収】 消化管からの吸収はほとんどない (1)

【排泄】 ほとんどが糞便中に排泄 (1) 尿中排泄は2%以下 (1)

【MW】 613.91

【更新日】 20160204

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。